

平成29年度 印旛地区教育研究会技術・家庭科研究部総会

平成29年 5月 9日
於 成田市立成田中学校

1 開会の言葉

2 研究部長あいさつ

3 議長選出・書記任命の件

4 報告事項

- (1) 平成28年度 行事報告について
- (2) 平成28年度 決算報告並びに会計監査報告について

5 議 事

- (1) 平成28年度 行事並びに決算承認の件
- (2) 平成29年度 研究部運営方針の件
- (3) 平成29年度 行事並びに予算承認の件

6 旧役員および新役員紹介 新会員紹介

7 その他

- (1) 研究集会について
- (2) 第57回 印旛郡市小学校、中学校技術・家庭科作品展について
- (3) 小学校関ブロについて（平成30年度実施）
平成30年11月7日（水）：成田市立公津の杜小学校
研究主題：「学ぶ喜びを実感し、よりよい生活をつくり出す児童の育成」
～モノやコトの価値を捉え、生活を創造する子どもをはぐくむ家庭科学習～

授業者	成田市立公津の杜小学校 大徳 詩子 先生 ・ 小西 利恵 先生 ・ 柴崎 紀子 先生 ・ 土性 早紀 先生
-----	--

(4) 中学校関ブロについて（平成30年度長野大会）

第4分科会 技術分野（D）

責 任 者：佐倉市立佐倉東中学校 江原 雅之 教頭先生
提 案 者：成田市立西中学校 笠井 一広 先生
提案者（サブ）：未定
アドバイザー：成田市立久住中学校 高島 亮策 先生
アドバイザー：印西市立原山中学校 山川 眞司 先生

8 閉会の言葉

- * 諸連絡
・ 懇親会について

平成28年度 印教研技術・家庭科研究部 行事報告

月 日	行 事 名	会 場
4月13日(水)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校
5月10日(火)	印旛郡市技術・家庭科研究部 総会	成田市立成田中学校
5月11日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会 印教研小学校家庭科中間検討会	もりんぴあこうづ (公津の杜コミュニティセンター)
6月24日(金)	千教研技術・家庭科教育部会研究大会 総会・作品展 印旛支部参加者 12名	御宿町立御宿中学校
7月27日(水) ～7月28日(木)	印旛郡市中学校技術・家庭科実技研修 技術分野「携帯音楽プレーヤー用スピーカの製作」 「ラックの製作」 家庭分野「アレルギー除去食」 「生活設計・マネーゲーム」	佐倉市立佐倉中学校
7月27日(水)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立佐倉中学校
8月 8日(月)	印旛郡市小学校家庭科研修会	成田市立本城小学校
8月 9日(火)	印旛郡市小学校家庭科実技研修会 快適な衣服と住まいに関する研修 「フェルトを使った小物の製作」 日常の食事と調理の基礎に関する研修 「エコクッキング」	成田市立本城小学校
8月24日(水)	印教研技術・家庭科研修会 101/117名 提案内容 技術1部会：「材料の切削を効率良く行い、作品の完成度を高めるための工夫」 技術4・5部会：「LEDあんどんのデジタル作品レポートの相互評価」 小学校：「個々の課題を自ら解決できる学習指導の工夫」 中学校家庭：「自ら課題をみつけ、主体的に住生活をデザインする生徒の育成」	成田市立成田中学校
10月13日(木) ～14日(金)	関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 印旛支部参加者 12名(資料参加含む)	埼玉県内
11月12日(土)	第13回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア ロボコン・アイデアバック・お弁当 *印旛地区9校全20団体が各部門に参加	総合教育センター
11月25日(金) ～ 11月29日(火)	第56回 印旛地区小学校家庭科, 中学校技術・家庭科作品展 11月28日(月)休館日 *一般来場者数565名	印西市立印旛公民館
12月 4日(日)	第17回関東甲信越創造ものづくり教育フェア	山梨県
1月21日(土) 22日(日)	第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア	東京都
2月10日(金)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校

[千教研技術・家庭科教育部会作品展 入賞者] 期日：6月24日(金)

会場：御宿町立御宿中学校

○第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品

振興会長賞 「バッグ シャツ ハーフパンツ」 成田市立遠山中学校 増田 由里奈

○第17回全国中学生創造ものづくり教育フェア 関東甲信越大会 生徒作品展出品

振興会長賞 「ハーモニカリュック」 佐倉市立志津中学校 金澤 優美

[第13回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア 入賞者]

期日：11月12日(土)

会場：千葉県総合教育センター

○「ものづくり」部門-木工の技

1位 県知事賞→全国大会出場 成田市立久住中学校 藤山 拓巳

2位 木材振興会長賞 成田市立久住中学校 石橋 晴香

○「ものづくり」部門-アイデアバック

3位 県会長賞 成田立玉造中学校 小野村 愛乃

○「ものづくり」部門-お弁当コンクール

審査員特別賞 四街道市立四街道西中学校 “KHSB”

(小坂 佐紀・織田 愛梨)

○「ロボットコンテスト」部門-基礎部門

特別賞→関東大会出場 佐倉市立上志津中学校 “HONDA”

(丸山 晃汰・片岡 拓実)

平成28年度 印教研技術・家庭科研究部 決算報告

歳入総額 291,000円

内訳

歳入額	歳出額	内容
291,000円	50,000円	小学校家庭科研修会費
	70,000円	中学校技術・家庭科研修会費
	30,037円	研修会・会議等の通信費
	52,027円	郡市作品展(賞状・賞品・紙袋等)
	71,436円	郡技・家センター補助・技家負担金等
	17,500円	講師謝礼・講師弁当代など

会計監査報告

平成29年2月24日、印旛地区教育研究会技術・家庭科研究部の平成28年度の「決算書」、「出納簿」、「領収書綴り」等の記録、保持について、会計監査2名の立ち会いのもとに監査を行いましたので、次のとおり報告致します。

監査の結果、「決算書」、「出納簿」、「領収書綴り」等の記録がすべて適切な状況であることを認めます。

平成29年 2月24日

会計監査 山川 真司 (印)

会計監査 廣田 恭子 (印)

平成29年度 研究部運営方針(案)

- 1 学習指導要領改訂の基本理念を理解し、指導計画の立て方、評価のあり方、題材・教材開発の方向性を見出す。
- 2 実践的・体験的な学習活動を通して、課題を解決するために工夫し、創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視し、自立的に生きる基礎を培う。
- 3 授業研修会を通して指導力向上を図り、家庭科、技術・家庭科教育の推進並びに教員としての資質の向上を図り、授業における指導方法の工夫・改善（言語活動の重視、地域人材の活用、TTや少人数指導等）に努める。
- 4 平成30年度関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会千葉大会に向け、研究部員が研究推進や運営に積極的に携わり、大会の成功を目指す。また、研究発表に関わる協議を通して部員相互で資質向上に努める。
- 5 小中連携教育・教研活動を積極的に推進して、研究を深め、情報の交換、部員の交流を深める。
- 6 教科情報（題材・教材、指導方法、ワークシート、実態調査等）の提供を通して、部員の研究活動（問題点を見つけ、改善点を探し出す等）の意識を高めると共に資質・力量をつける。
- 7 授業における安全指導、安全管理を一層重視し、機器の保守、管理、安全治具の活用に努める。
- 8 作品展を開催し、部員相互研修の場（小中連携を図る）とするとともに、児童・生徒の学習意欲を喚起するための創意工夫のあふれた題材開発の指針とする。また、地域の啓発活動の一環として推進する。

研究主題

確かな知識と技術を身につけ、社会の変化に対応し、
自ら課題を解決し生きる力を育む学習指導のあり方

現代の子どもたちを取りまく生活環境は科学技術の進歩とともに大変便利なものになってきている。しかしながら、子どもたちがものをつくり、直し、活用する生活体験は少なくなってきており、材料に関する知識や道具の使い方、技術などが徐々にではあるが劣ってきている。

そのような実態の子どもたちに「生きる力」を身につけさせるために、小学校学習指導要領では、実践的・体験的な学習活動を通して基礎的・基本的な知識と技能を身につけられるような指導・評価をし、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度の育成を重視している。また、中学校学習指導要領では、生活の自立を図る観点から、生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育成することを重視している。

そこで、授業を通して子どもたちに身近な家庭・社会生活に目を向けさせ、興味・関心を高めることにより、自ら学ぶ意欲が喚起され、生活の基本的な仕組み（技術）が発見できると考える。そして、生活に必要な基礎的・基本的な知識と技能や技術の定着を図るために、それぞれの分野における基礎・基本を明らかにするとともに、問題解決的な学習を充実させることにより、自分の適性にあった創意工夫が生まれるものと考えられる。そして、そのことにより児童・生徒一人一人における家庭生活や社会生活が充実し、さらには生活の自立を図ることができるであろうと考え、本主題を設定した。

平成29年度 印教研技術・家庭科研究部 行事計画(案)

月 日	行 事 名	会 場
4月12日(水)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校
5月 9日(火)	印旛郡市技術・家庭科研究部 総会	成田市立成田中学校
5月10日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会	もりんびあこうづ (公津の杜コミュニティセンター)
6月16日(金)	千教研技術・家庭科教育部会研究大会 総会・作品展	市原市立国分寺台中学校
8月 1日(火) ～8月 2日(水)	印旛郡市中学校技術・家庭科実技研修会	佐倉市立佐倉中学校
8月 1日(火)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立佐倉中学校
8月 9日(水)	印旛郡市小学校家庭科研修会	成田市立本城小学校
8月10日(木)	印旛郡市小学校家庭科実技研修会	成田市立本城小学校
8月23日(水)	印教研技術・家庭科研修会	成田市立成田中学校
10月30日(月)	平成30年度小学校関プロ 事前授業	成田市立公津の杜小学校
11月10日(金)	第33回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究会	長野県
11月11日(土)	第14回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア	総合教育センター
11月14日(火) ～11月15日(水)	関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会	新潟県
11月17日(金) ～11月21日(火)	第57回 印旛地区 小学校家庭科 中学校技術・家庭科作品展 11月20日(月) 休館日	八街市中央公民館
12月 3日(日)	第18回関東甲信越創造ものづくり教育フェア	埼玉県
2月 9日(金)	印旛郡市技術・家庭科研修会	佐倉市立白銀小学校

平成29年度 印教研技術・家庭科研究部予算(案)

内訳 歳入総額 290,000円

歳入額	歳出額	内容
290,000円	50,000円	小学校家庭科研修会費
	70,000円	中学校技術・家庭科研修会費
	30,000円	研修会・会議等の通信費
	55,000円	郡市作品展(賞状・賞品・紙袋等)
	65,000円	郡技・家センター補助・技家負担金
	20,000円	講師謝礼・講師弁当代

平成29年度

印教研技術・家庭科研究部役員

	平成28年度	平成29年度
研究部長	工藤 富士雄 (白銀小)	工藤 富士雄 (白銀小)
顧問		
研究部副部長	野村 英二 (志津中) 名池 輝男 (七次台中) 實川 弘美 (成田小) 本間 照美 (八街北小)	野村 英二 (志津中) 油座 誠市 (吉岡小) 名池 輝男 (西の原中) 本間 照美 (八街北小)
事務局長	加藤 恒樹 (印西中)	加藤 恒樹 (印西中)
事務局次長	藤巻 克彦 (桜台中)	藤巻 克彦 (桜台中)
事務局員		佐藤 雅子 (公津の杜小) 石川 美代子 (公津の杜小) 押尾 由美 (みそら小) 工藤 珠貴 (平賀小) 藤沼 真理 (日吉台小)
中学校部長 技術	油座 誠市 (臼井南中)	江原 雅之 (佐倉東中)
中学校部長 家庭	小出 清美 (八街中)	小出 清美 (八街中)
小学校部長	内山 茂樹 (笹引小)	内山 茂樹 (笹引小)
中学校部副部長 (技)	伊藤 肇 (四街道西中)	伊藤 肇 (四街道西中)
中学校部副部長 (家)	中野 博子 (千代田中)	中野 博子 (千代田中)
小学校部副部長	押尾 由美 (みそら小)	児玉 喜久子 (弥富小)
事業部長	吉田 健 (佐倉中) 細川 浩美 (佐倉中)	吉田 健 (佐倉中) 細川 浩美 (佐倉中)
	角田 正治 (酒々井中)	角田 正治 (四街道中)
会計監査	山川 眞司 (原山中) 廣田 恭子 (南山中)	山川 眞司 (原山中) 廣田 恭子 (南山中)

※ 全日中技・家研究会Webページ 印旛支部担当者

	平成28年度	平成29年度
技 術	笠井 一広 (成田西中)	笠井 一広 (成田西中)
家 庭	林 仁美 (八街北中)	林 仁美 (八街北中)
小 学 校	柏木麻理子 (日吉台小)	柏木麻理子 (内野小)

※ 平成30年度 小学校関プロ実行委員長

関プロ実行委員長	戸井 康子 (吾妻中)
----------	-------------

印旛教育研究会技術・家庭科研究部会会則

最終改正 平成28年4月13日

第一章 総則

(名称)

第1条 本会は印旛教育研究会技術・家庭科研究部会と称する。

(目的)

第2条 本会は、技術・家庭科教育の振興を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 技術・家庭科教育振興に必要な研究調査
- (2) 会員の資質向上になる研究大会、講演会等の開催
- (3) 施設・設備の充実を図るための活動
- (4) 機関誌等の発行
- (5) その他、本会の目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 本会は、印旛郡内の市町の教職員を持って会員とする。

(組織)

第5条 本会に次の部を置く。

小学校部 1部会, 2部会, 3部会, 4部会, 5部会
中学校部 1部会, 2部会, 3部会, 4部会, 5部会

第二章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

研究部長1名, 顧問(校長経験者で研究部長経験者より1名会長とする),
副研究部長若干名, 小学校部長1名, 小学校副部長1名, 中学校部長(技
術・家庭)各1名, 中学校副部長(技術・家庭)各1名ずつ, 事業部長(技
術センター校主任及び1名)3名, 事務局長1名, 事務局次長1名, 事務
局員(中学部は各部会より各1名, 小学部は数名), 会計監査若干名

(役員を選出)

第7条 研究部長, 副研究部長, 会計監査は選考会において選出し役員会で決定し, 総会に報告する。

- 2 小学校部長, 小学校副部長, 中学校部長, 中学校副部長, 事業部長, 事務局長, 事務局次長は研究部長が推薦し, 役員会で決める。
- 3 部会長は, 各部会代表を持ってあてる。また, 研究部長の招聘により役員会に出席する。
- 4 選考会の選考委員は研究部長, 顧問, 各1~5部会の部会長で構成し, 研究部長が招聘する。

(役割の任務)

第8条 研究部長は会を代表し, 会務を掌握する。

- 2 副研究部長は, 部長を補佐し, 研究部長事故ある時は会務を代行する。
- 3 研究部長, 副研究部長, 小学校部長・副部長, 中学校部長・副部長, 事業部長, 事務局長, 事務局次長は, 役員会を構成し, 研究部長の招聘により, 会務を審議執行する。
- 4 小学校部長, 中学校部長は, 部を総括する。
- 5 事務局長・事務局次長は, 研究部長の命により会務を処理する。
- 6 会計監査は, 本会の経理を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は1年とする。但し, 再任を妨げない。補欠役員任期は, 前任者の在任期間とする。

(顧問)

第10条 本会に顧問をおくことができる。

- 2 顧問は, 研究部長が推薦し, 役員会の決定に基づき委嘱する。
- 3 顧問は, 研究部長の諮問に応じて意見を述べることができる。
- 4 顧問に会長をおくことができる。会長は, 顧問のまとめ役とする。

第三章 会議

(会議種別)

第11条 本会の会議は、総会、役員会とする。

(会議の招集)

第12条 各会議は、研究部長が招集する。

(総会)

第13条 本会の総会は、毎年1回年度当初に開催する。但し、役員会の決定、会員の三分の一以上の要請があった場合は、臨時に開催することができる。

(総会の議決事項)

第14条 総会は次の事項を審議決定する。

(1) 会則の制定及び変更に関すること。

(2) 事業及び予算決算に関すること。

(3) その他、会務に関する重要事項。

(役員会)

第15条 役員会は必要に応じてこれを開く。

第16条 事業の執行にあたって、研究部長が認めるときは役員会の承認を経て各種委員会を設置することができる。各種委員会は目的達成までの特別委員会とする。委員は役員会の推薦により研究部長が任命する。

(役員会の議決事項)

第17条 役員会は次の事項を審議決定する。

(1) 総会提出議案に関すること

(2) 研究部長、副研究部長、会計監査の選出に関すること

(3) 部に関すること

(4) 会務の企画、立案、調整に関すること

(5) 補欠役員の選出に関すること

(6) その他、必要事項

(会議の議決)

第18条 総会、役員会の議事は、出席者の過半数を持って決し、可否同数の場合は、議長がこれを決める。

第四章 会計

第19条 本会の経費は、印旛地区教育研究会会費を持ってあてる。

(会計年度)

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

第五章 付則

(1) 会の役員は次の会員とする。

研究部長	佐倉市立白銀小学校	校長	工藤	富士雄
事務局長	印西市立印西中学校	教諭	加藤	恒樹
事務局次長	白井市立桜台中学校	教諭	藤巻	克彦
会計監査	印西市立原山中学校	教諭	山川	眞司
会計監査	白井市立南山中学校	教諭	廣田	恭子

(2) (所在地)

この会の事務局は平成28年度より、「印西市立印西中学校：印西市大森2244」に置く。

(施行期日)

この会則は、平成元年4月1日から施行する。

平成28年度 県小家研だより

平成29年2月8日 発行

【発行所】
千葉県教育研究会技術・家庭科部会
小学校家庭科教育研究会

【発行者】
千葉市立椎名小学校 高山 玲子

「平成30年度関プロ千葉大会に向けて」

千葉県小学校家庭科教育研究会
会長 高山 玲子

平成30年度の関プロ大会は千葉県の開催となります。今年度、実行委員会を立ち上げ、準備を始めました。大会の開催日は、平成30年11月7日（水）、会場校は成田市立公津の杜小学校です。印旛地区を中心に研究が昨年度のうちから積み重ねられています。（詳しくは、次ページをご覧ください。）千葉県が県として受けた大会ですので、各支部の力を結集して全県で協力し、30年度の大会を盛り上げたいと強く願っています。

今年度は、12月に次期学習指導要領の答申が出されました。小学校は、新学習指導要領が平成32年度から完全実施となる予定です。平成30年度の大会ということは、すでに移行期に入っていることから、教科書はまだ旧のまま新学習指導要領に合わせて研究し、公開授業を行うという形を取らざるを得ません。全国的に千葉県が先行して研究を進めていくことが求められています。新学習指導要領について早く学ぶことができ幸運ですが、これまで以上に情報を一早く入手し、共有することが大切になります。

今回、千教研 技術・家庭科部会の天野会長からの心強いバックアップもあって、中学校との連携もさらに進めていくことができると考えます。前回、平成19年度の関プロ大会千葉大会（会場：千葉市立瑞穂小学校）の際は、中学校の先生方が、各分科会のコンピュータ関係担当として待機したり、駐車場や道案内の係を率先して担当したりして、ご協力くださいました。前回の県大会 安房大会（会場：南房総市立三芳小学校）でも、中学校の先生方の全面的な協力があった、すばらしい大会となりました。このような協力関係が持てるのも、日ごろから連携して活動を重ねている本教科のよさであると考えます。

次年度、平成29年10月30日（月）には、公津の杜小学校でプレ授業を予定しています。ぜひ、ご参加ください。

「小・中のつながりを意識した指導の充実に向けて」

千葉市教育委員会学校教育部指導課
指導主事 豊川 ますみ

次期学習指導要領では、小・中・高等学校を通じて育成を目指す資質・能力として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱を示しました。また、学習内容の枠組みは「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の三つに整理され、より一層小・中学校の接続が見えるよう系統性が明確になりました。

目指す資質・能力や学習内容の枠組みは小・中学校で共通のものですが、時間軸と空間軸の二つの視点からの学習対象が異なります。例えば「思考力・判断力・表現力」を育むために付けたい力として、

①生活の中から問題を見出し、解決すべき課題を設定する力

②生活課題について多角的に捉え、解決策を構想する力

③実習や観察・実験の結果等について、考察したことを表現する力

④他者と意見交流し、実践等について評価・改善する力等がありますが、下線部について学習対象の視点の違いを示すと下表ようになります。

	小学校	中学校
①	日常生活の中から	家族・家庭や地域における生活の中から
②	生活課題について自分の生活経験と関連付け	生活課題について他の生活事象と関連付け、これからの生活を展望して多角的に捉え
③	根拠や理由を明確にしてわかりやすく説明したり発表したりできる	根拠や理由を明確にして論理的に説明したり、発表したりできる
④	他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりして計画	他者の意見を聞き、自分の意見との相違点や共通点を踏まえ計画

このように視点を円滑に広げるためには、小学校で家庭科を指導する教員（学級担任）と中学校の家庭分野担当の教員の連携を密にし、題材に関する情報交換や専門性の高い中学校教員からの技能に関する支援の在り方について検討することが重要になると考えます。

最後に、日頃の先生方のご尽力に感謝を申し上げるとともに、益々のご活躍と本研究会の発展を期待いたします。

全国大会主題「未来を創り出す豊かな心と確かな実践力をはぐくむ家庭科教育」

千葉県研究主題

学びを生かし豊かな家庭生活を創り出す家庭科教育
—家庭・地域とつながり生活をよりよくなる児童の育成を目指して—

めざす子供像

- 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている子
- 学んだことを活用し、課題を解決するための力を身に付けている子
- 家庭や地域と関わり、生活をよりよくしようとする子

家庭科でめざす資質や能力

知識・技能

日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解と技能

- ・家庭生活と家族についての理解
- ・生活の自立の基礎として必要な衣食住についての理解と技能
- ・消費生活や環境に配慮した生活の仕方についての理解と技能

思考力・判断力・表現力等

日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、課題を解決する力

- ・日常生活の中から問題を見出し、課題を設定する力
- ・生活課題について自分の生活経験と関連付け、様々な解決方法を構想する力
- ・実習や観察・実験、調査、交流活動の結果について、考察したことを根拠や理由を明確にしてわかりやすく表現する力
- ・他者の思いや考えを聞いたり、自分の考えをわかりやすく伝えたりして計画・実践等について評価・改善する力

学びに向かう力・人間性等

家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度

- ・家庭生活を大切にできる心情
- ・家族や地域の人々と関わり、協力しようとする態度
- ・生活を楽しまうとする態度
- ・日本の生活文化を大切にしようとする態度

研究の視点

視点1

年間指導計画の工夫

- 小・中の内容の系統性をふまえた計画
- 他教科の内容と学年の系統性の関連
- 家族や地域とのかかわりを大切にした題材構成

視点2

確かな学力をはぐくむ学習の工夫

- 問題解決的な学習過程の工夫
- ・見通しをもたせた主体的な学習
- ・言語活動の充実とICTの活用

視点3

自己の成長を実感できる評価の工夫

- 自分の学びの状況を把握できる評価
- 指導の改善に生かす評価

視点4

家庭・地域との連携の工夫

- 学んだことを生活に生かす指導
- 家族に協力することへの関心を高める工夫
- 地域の生活文化の大切さに気付く学習指導

印刷の研究

34回 関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会千葉大会

成田市立公津の杜小学校

千葉県研究主題 学びを生かし豊かな家庭生活を創り出す家庭科教育(案)

印刷地区研究主題 モノやコトの価値を捉え、生活を創造する子どもをはぐくむ家庭科学習(案)

1. 主題設定の理由

複雑で変化の激しい社会の中で生き抜くために、「一人一人の子ども達が、自分の価値を認識するとともに、相手の価値を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい人生とよりよい社会を築いていく」として、2016年12月に中央教育審議会より答申が示された。これを受けて、本研究では、児童自身が身の回りにある「モノやコト」の価値を捉えることが自身の生活を見つめ直す視点になり、そのことが生活にある課題を解決する力になると考えた。そしてこのことが自他の価値を尊重し、自他の生活をよりよくしようと工夫する能力につながると考え、本主題を設定した。

2. 研究の視点

上記の力をはぐくむために、以下4つの視点を設け、研究を進めてきている。

視点1 年間指導計画の工夫 ～「ヒト・モノ・コト」をつなぐ～

身の回りの「モノ・コト」の価値を認識するには、小学校6カ年の学びをつなぐ必要がある。そこで、現在の使用教科書の内容を見直し、学年を超えた内容の位置付け及び価値を見出し、家庭科学習との関連を図ることとして取り組んできている。

視点2 確かな学力を育む学習の工夫 ～アクティブ・ラーニングの視点～

視点1により、学びのゴールを見据えた上で、各授業の工夫が必要となる。児童自身がヒト・モノ・コトと対話しながら、主体的に深く学ぶことで、生活における選択肢を増やし、根拠をもって意思決定できる力を育成できるよう、授業実践を進めてきている。

視点3 自己の成長を実感できる評価の実施

本研究では、主にポートフォリオを活用した評価を心がけている。これにより、自分の成長を自覚し、生活を変えてきている自分に気付いたり、これからの自分の生活を変える視点の一つにできたりするのではないかと考えた。また、他者からの価値付けによる成長の自覚は、自己有用感を育み、この先の暮らしにおける自立と共生の視点から生活を見ることができるようになると考え、「ナラティブ」の手法を取り入れてきている。

視点4 家庭・地域との連携

これからの社会では、学校が地域のコミュニティの中心となっていくことが求められている。児童自身が自らの生活における他者とのかかわりを意識し、自分のできることを考えていくことは、これから地域で生きる一員として大切な視点であると考えている



〒286-0046
千葉県成田市公津の杜3丁目2番20
TEL 0476-29-7770 FAX 0476-27-7778

期日及び会場 平成30年11月7日(水) 成田市立公津の杜小学校



—授業展開(案)—

○第5学年「米の変身から働きを考える」、「金銭の価値を考え、使い方を工夫しよう」

○第6学年「食事をアレンジしよう」「暮らすことを考えよう」

○低学年・中学年 食育の授業(2本展開予定)

第53回全国小学校家庭科教育研究会 全国大会 山梨大会
第32回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会 山梨大会に参加して

千葉市立千城台東小学校 大庭 通代

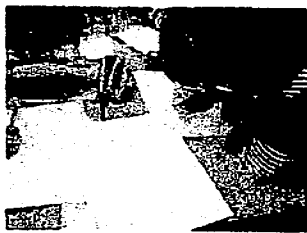
平成28年11月11日(金) 第53回全国小学校家庭科教育研究会 全国大会を兼ねた第32回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会 山梨大会が、甲府市の千塚小学校、大國小学校、善誘館小学校の三つの学校を会場にして行われました。

新宿からの特急あずさ号が西へと進むにつれ、山・谷は深く、木々の彩りも鮮やかになっていきました。甲府駅では、武田信玄公の像が私たちを出迎えてくれました。

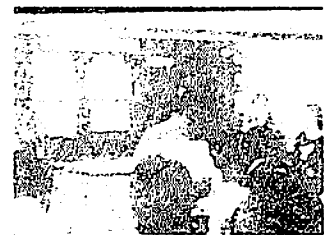
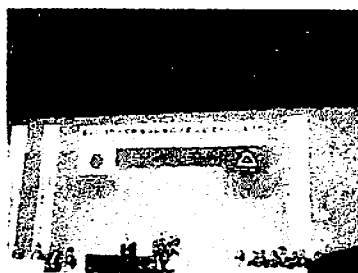
私は、第三会場である甲府市立善誘館小学校での公開授業を参観、分科会に参加しました。授業は第5学年「チャレンジ! ほっとな生活」、第6学年「そうじはまかせて! クリーンアップ作戦」の二つの題材が提案されました。千葉市の市教研で同じ題材の研究授業を翌週に控えていたこともあり、第5学年「チャレンジ! ほっとな生活」の学習に興味を持って参観しました。授業では、寒い季節に合わせた快適な着方や住まい方について家庭で調べてきた工夫をまずグループ内で報告しました。それらをまとめてグループとしてのおすすめを決め、他のテーマで調べてきたグループに説明に行く活動をしていました。

午後は会場を甲府市総合市民会館に移し、全体会が行われました。全国6地区の提案発表は地域の実態を反映しており、とても興味深いものでした。文部科学省の調査官筒井恭子先生の全体指導では、間近に迫った新しい学習指導要領のねらいがわかりやすく説明されました。

千葉県での関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会開催を2年後に控え、研究面・運営面の両面で、しっかり学ぶことができ、大変盛り多い一日となりました。



5年「チャレンジ! ほっとな生活」



6年「そうじはまかせて! クリーンアップ作戦」

29年度 大会案内

第54回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会 石川大会

- 1 大会主題 未来を創り出す豊かな心と確かな実践力を育む家庭科教育
- 2 研究主題 豊かな生活を創り出す子をめざして～つながろう家庭・地域・高めよう実践力～
- 3 期日・会場 平成29年11月16日(木) —公開授業・分科会—
小松市立芦城小学校・白山市立松南小学校・金沢市立中央小学校
11月17日(金) —全体会— 石川県音楽堂邦楽ホール
- 4 全体指導 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様

第33回 関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会 長野大会

- 1 大会主題 未来を創り出す豊かな心と確かな実践力を育む家庭科教育
- 2 研究主題 共にひらく家庭科の学習
～自分の成長を自覚し、他者と協働しながら生活をよりよくしようと工夫し実践する子供～
- 3 期日・会場 平成29年11月10日(金)
長野県小県郡青木村立青木小学校
- 4 全体指導 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部 教育課程調査官 筒井 恭子 様

——創立70周年を迎えて——

今年度、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会は創立70周年を迎えることになり、新春の1月7日（土）に、京成ホテルミラマーレを会場に、盛大に記念式典が催されました。当日は、文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 上野 耕史 様をお招きし、演題「これからの技術・家庭科教育 —学習指導要領改訂がめざすもの—」のご講演に始まり、式典へと進んでいきました。



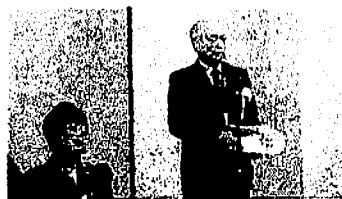
また、当日は、本会に多大なご功績を残された12名の方に功労者賞を、36名の方に感謝状が贈呈されました。

当日ご参加いただいた功労賞受賞の方(敬称略)

田野 定男	元千葉県技術・家庭教育振興会長
福山 武夫	千葉県技術・家庭教育振興会会長
大野 伸子	元千葉県技術・家庭教育振興会副会長
菊地 和子	千葉県技術・家庭教育振興会副会長
吉原 サト	千葉県技術・家庭教育振興会副会長、長年ものづくりフェアバック部門審査を担当
上野 耕史	文部科学省教科調査官
関下 裕文	元会長、第6回関東甲信越地区中学生創造ものづくり教育フェア実行委員長
山本 嘉則	元会長、第52回全日本・関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会会長
齋藤 広子	長年にわたり中学生創造ものづくり教育フェアバック部門審査を担当

当日ご参加いただいた感謝状贈呈者の方(敬称略 五十音順)

雨宮 孝子、石野 清忠
磯野 和美、大沼 千博
大野真理子、清水 育子
鈴木 芳朗



<代表挨拶される関下 裕文様>

——木作品展にて——

平成29年2月19日（日）～20日（月）にかけて、千葉市にある複合施設 Qiball（きぼーる）にて木作品展（主催 千葉県木材振興協会）が開催され、113作品が展示されました。そのうち16作品に奨励賞が贈られました。



<奨励賞>

(敬称略)

千葉市立泉谷中学校	山田 隼
市原市立湊津中学校	御園 葉月
習志野市立第二中学校	川崎 光毅
八千代市立八千代西中学校	金井 匠
船橋市立法田中学校	吉岡 憲伸
市川市立福栄中学校	惣ト 余々香
松戸第一中学校	藤巻 舞帆
白井市立白井中学校	野口 愛桜

香取市立香取中学校	鎌形 碧泉
匝瑳市立八日市場第二中学校	飯田 郁哉
大網市立大網中学校	田中 輝
一宮町立一宮中学校	林 美心
いすみ市立国吉中学校	板倉 涼真
館山市立第二中学校	吉田 琉己
君津市立周西中学校	吉原 晴輝
袖ヶ浦市立平川中学校	小国 勇輝

——編集後記——

今回は、天野会長の挨拶、全国中学生創造ものづくり教育フェア、創立70周年記念、木作品展の作品を掲載させて頂きました。次年度も、各支部の作品展や関東・甲信越大会や全国大会に関する記事を掲載していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科部会 広報部 千葉市立白井中学校 北島 啓行》

平成29年3月1日

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年度も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——平成28年度の活動を振り返って——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会会長 天野 新太郎

平成28年度もいよいよ最終の月を残すのみとなり、万全とは言えないまでも滞りなく各事業や研究を進めることが出来ました。これも本会を支えてくださった皆様の暖かいご支援のお陰と深く感謝いたします。

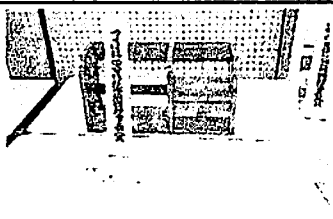
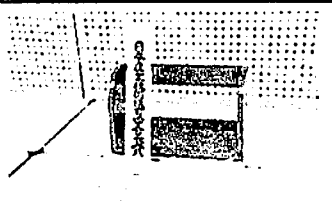

さて、本年度も「研究活動の推進と成果の累積に努める」「小学校家庭科及び中学校技術・家庭科の関連を図る」「研究・研修活動の推進を図る」「組織を強化し、機能を円滑にする」の4本の柱で、研究を進めてまいりました。本年度の重点として、平成30年度に成田市立公津の杜小学校を会場に開催される「第34回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究会千葉大会」に向けた、研究組織の拡充と小中の連携を進めて参りました。昭和41年に小中との合同研究会となり50年の月日が流れております。これを機に小中の連携をさらに深め、次世代を担う子供たちのために共に研究を進められればと願っています。

また、御宿町立御宿中学校にて開催された定期総会から優秀指導者表彰を新設し、8名の先生方を表彰させていただきました。この賞は、全国フェア等の大規模大会で優秀な成績を収めた児童生徒を、熱心にご指導いただいた功績を称えるために新設した賞で、本年度もたくさんの生徒たちが全国フェアで素晴らしい活躍を見せてくれました。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、70周年記念事業の開催にあたり、OB、現職を交えた数多くの皆様に参加、協賛いただき誠にありがとうございました。おかげさまで記念誌の発刊、講演会、記念式典を無事終えることが出来ました。今後、次回の80周年に向けて研究を積み重ねて参りますので、今回同様お力添えをいただけますようお願い申し上げます。

——全国中学生創造ものづくり教育フェアより——

第17回全国中学生創造ものづくり教育フェアが1月21日(土)、22日(日)の両日、有明TOC展示場と女子栄養大学を会場として開催されました。千葉県からも、優秀作品が出品され、素晴らしい成績を収めました。

つくば科学万博記念財団理事長賞	日本産業技術教育学会会長賞	特許庁長官賞
		
一宮町立一宮中学校 金尾 健人 さん(2年) オリジナル小物入れ	一宮町立一宮中学校 山下 麗奈 さん(2年) 本立て	千葉市立小中台中学校 竹原 明日果 さん(2年) 「布絵本・ベスト・防災頭巾」

この他、木工の技で藤山 拓巳さん(成田市立久住中学校)、お弁当コンクールで 飯野 真悠子さん・高橋 桃音さん(千葉市立蘇我中学校)が出場しました。

平成29年5月吉日

各市町村立教育委員会教育長 様
各小・中・特別支援学校長 様
各学校技術・家庭科担当者 様
各関係者 様

千葉県教育研究会 会長 安西 和彦
千教研技術・家庭科教育部会 会長 飯塚 清
千教研技術・家庭科教育部会 市原支部理事 高田 浩光

平成29年度千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会
市原大会並びに総会・作品展の御案内（最終案内）

新緑の候、皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会市原大会並びに定期総会・作品展の概要が下記のとおり整いましたので、ここに最終の御案内を申し上げます。
皆様方の多数の御参会をお待ち申し上げます。

記

千教研技術・家庭科教育部会 研究主題

○確かな知識と技術を身に付け、社会の変化に対応し、生活に活かす力を育む学習指導の在り方
千教研市原支部技術・家庭科部会 研究主題

○よりよい生活や社会の実現に向けて、自ら課題を見つけ、解決する力を育む学習指導の在り方

1 期 日 平成29年6月16日（金）

2 会 場 市原市立国分寺台中学校 〒290-0075
千葉県市原市南国分寺台2-1
TEL：0436-22-4567

3 主 催 千葉県教育研究会 千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会
千葉県教育研究会市原支部技術・家庭科教育部会

4 後 援 千葉県教育委員会 市原市教育委員会
千葉県中学校長会 市原市小学校長会 市原市中学校長会 市原市教育研究会

5 日 程

8:45～9:25	開会 行事 移動	9:45～10:35	休憩	11:00～12:00	昼食 作品 展示	12:50～13:50	休憩	14:10～15:20	閉会 式
受 付		授業公開		研究協議		定期総会		講習会	

6 授業展開

【技術分野】

学年	授業者	題材名
1	市原市立国分寺台中学校 教諭 菊池 亮助	簡単な木製品の設計と製作 (A 材料と加工に関する技術)

【家庭分野】

学年	授業者	題材名
2	市原市立国分寺台中学校 教諭 小甲はな恵	地域の食材と食文化 (B 食生活と自立)

7 講習会 「災害に備えよう、身近な物の活用法」

講師： NPO法人「ゆかいな仲間たち」

理事長：白尾克伸氏

《 NPO法人「ゆかいな仲間たち」プロフィール 》

災害に強い「人づくり・街づくり」をテーマに大小問わず講演会・講習会の支援や開催をし、地域や自治会の防災訓練支援など組織的な活動を展開するとともに、行政サービスが行き届かない課題を解消すべく地域に呼びかけ、市民活動やNPOの支援、NPOと行政等との協働のコーディネート等を通じて地域社会の公益に寄与することを目的として活動しています。

8 参加申込み

(1) 参加申込みと昼食の注文について

- ・参加申込みは各支部の事務局長へお願いします。
- ・昼食(弁当・飲物付き)を注文される方は、参加申込みと同時に注文をお願いいたします。
※昼食代金は600円です。当日受付にて集金いたします。
- ・各支部の事務局長は参加者名簿をとりまとめ、メールで申込みください。
※申込み用メールアドレスは各支部理事を通してお知らせしてあります。

(2) 申込み手順および期日

各小中学校→各支部事務局長(各支部〆切日まで)→市原支部事務局(5月25日まで)

9 作品展について

(1) 出品作品について

- ・各支部の担当者が作品を持参して、当日の朝に指定の場所に展示して下さい。
- ・大会終了後は各支部で責任を持って持ち帰りをお願いします。

(2) 優秀作品について

- ・優秀作品は関プロ大会、全国中学生創造ものづくり教育フェア作品展に出品いたします。

10 交通機関

- ・JR内房線「五井駅」東口から 小湊鉄道バス「国分寺台」行 または「労災病院」行
バス約9分「国分寺台中学校」バス停より 徒歩1分

11 その他

- (1) 駐車場の数に限りがあるため、できるだけ乗り合わせや公共交通機関をご利用ください。
- (2) 大会終了後、情報交換のための懇親会を計画しております。

懇親会会場「久松本店」

市原市五井中央西3丁目8-13

(JR内房線「五井駅」西口より徒歩3分)

17:00～ 会費 6,000円

※会費は、懇親会会場の受付で集金いたします。

※国分寺台中から懇親会場まで送迎バスが出ます。

問合せ先：

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会

市原支部事務局長

市原市立双葉中学校 古屋義和

TEL：0436-36-6211

FAX：0436-36-7673

----- キ リ ト リ -----

平成29年度千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会及び総会 参加申込書

平成29年5月 日

支部

学校

氏名

※該当項目を○で囲んでください。

1 昼食(弁当)：希望 (有 ・ 無)

2 交通手段 (自家用車 ・ 自家用車同乗 ・ 公共交通機関)

3 情報交換懇親会 (参加 ・ 不参加) バスの送迎希望 (有 ・ 無)

※各支部で指定された期日・方法で、各支部事務局長へ申込みをお願いいたします。